

日本のウナギ 生態・文化・保全と図鑑

写真=内山りゅう 文=海部健三・脇谷量子郎

■書籍仕様

定価:4,950円(本体4,500円+税10%)

発売日:2024年7月19日

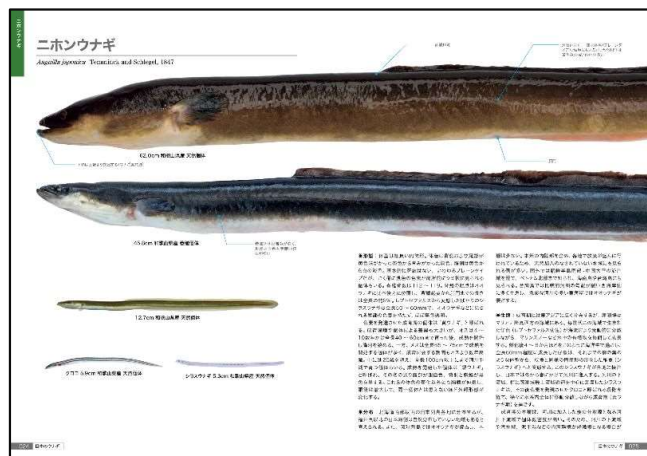
仕様:B5判 192ページ オールカラー

ISBN:9784635062855

近年減少が騒がれ、注目されるウナギ。そして、古来から日本人と関係が深い「ウナギ」を、図鑑や生態、文化や保全などのさまざまな面を、多様な写真と最新の知見や研究結果から取りあげる、日本のウナギ属魚類書籍の決定版です！



写真には、水中写真に定評のある内山りゅう氏のダイナミックなカットを贅沢に使用。本邦初公開となる貴重な写真も！



第1・2章は、魚類生態学専門家の脇谷先生がウナギの分類や生態を解説。図鑑部には近年日本ではじめて見つかったウグマウナギも掲載！

お求めは、お近くの書店・Web書店へ！



Amazon



楽天ブックス

FRESHWATER EELS in JAPAN

Natural History and Culture

日本のウナギ 生態・文化・保全と図鑑

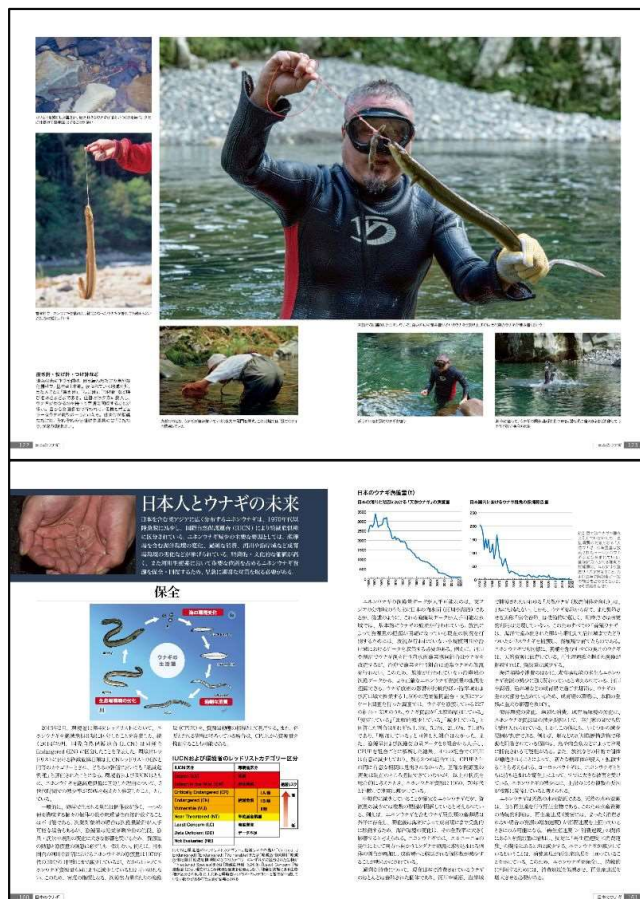
海部健三・脇谷量子郎 文
TEXT by Keizo Kaifu, Ryosho Wakaya
内山りゅう 写真
PHOTO by Ryu Uchiyama



日本のウナギ属魚類書籍の決定版！

古来から続いてきた日本人との関係や、身近でありながらも知られざる河川での生態を、最新の研究に基づく解説と迫力ある写真で掲載！

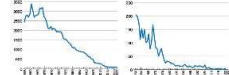
山と溪谷社



日本人とウナギの未来

日本産ウナギの資源量は、戦後から急激に減少し、現在は絶滅危惧種に指定されています。この背景には、乱獲による資源の枯渇と、環境汚染による生息地の劣化が主な原因とされています。本書では、最新の調査データに基づき、資源回復に向けた取り組みや、持続可能な漁獲方法の提案を行っています。

日本のウナギ資源量



保全



ウナギの保全には、産卵地や稚魚の生息地を保護することが不可欠です。また、乱獲を防止するための漁獲規制の強化や、環境汚染の削減も重要な取り組みです。本書では、具体的な保全策や、市民が参加できる活動についても紹介しています。

ウナギは、古くから日本人の食文化に欠かせない食材であり、その歴史は長い。しかし、近年の資源減少により、その文化の継承が危ぶまれている。本書では、ウナギの生態や文化を詳しく紹介し、その重要性を広く伝えることを目指しています。

第3～5章は、保全生態学専門家の海部先生が解説。河川での生態を解説する第3章、縄文から続く漁法や食などの文化に関する第4章、ウナギの保全を考える第5章と続きます